

児童生徒・保護者の声

CHANCE

中学部卒業生女子

私は2回目の入院、転入です。初めてここに来た時はよく「いや」と言っていた。今は、何事にも逃げずに立ち向かえる自信がある。それは、私に色々な面で優しくしてくれた先生や看護師さん、家族に支えられたおかげだと思う。私は特に学校の先生にすごく感謝している。中学3年という初めての受験で、すごく辛かったり、気持ちが揺れたり、ちょっとしたことで泣いてしまったりした時、いっぱい支えてもらったと実感している。

どこに行っても、何をしても、何歳になろうと、辛いことはいっぱいあると思う。人に何を言われても、今見えるところに自分の味方がいなくても、きっとどこかにはいると思う。それは自分で探すんだと思う。そこで逃げたらきっと最悪な終わり方で終わると思う。

私はここに来て、今までできなかったことができたり、思えなかったことが思えたり、言えたり、色々な考えができるようになったり、周りを見れたりできるようになったと思う。

私が一番思ったことは、ここに来て強くなったと思う。人にも自分にも負けないように、逃げないように強い人間になりたい。そう思いました。

ただ感謝!!

保護者

不登校だった子どもが「学校に行って勉強したい。」と言いました。いろいろ探して城陽養護学校に決まった時は、親子で大喜びしたものの、中学で親元を離れての生活を思うと不安でいっぱいでした。

最初の1年は考えていた以上に色々な問題が起り、ずいぶん悩んだ時期もありました。しかし先生方が親身になって対応くださり、また温かいご指導をいただき乗り越えてこれたと思います。

子どもも体育大会や学習発表会等、様々な行事を体験し大きく成長し逞しくなれたと思います。中でも、音楽発表会では何度感動の涙を流したか知れません。週末の送迎では、遠方のため大変な時もありましたが、城陽での数々の出来事は大変な宝物となりました。

3年間、先生方そして多くの方には、お世話になりありがとうございました。私たちは感謝の気持ちでいっぱいです。

入学・転学の手続き

◎城陽支援学校への入学・転学を希望される場合は、本人と一緒に独立行政法人国立病院機構京都府病院小児科外来で診察を受けてください。

- ・TEL 0774-52-0065
- ・小児科外来の受付 月～金
午前8時20分～午前11時
(肥満外来 木曜日 午後<予約制>)

入院・在学中の経費

【病院】 医療関係の経費は、ぜんそく・慢性腎疾患などの小児慢性特定疾患における自己負担限度額は生計中心者の課税額等によって決まりますので、関係機関へお問い合わせください。

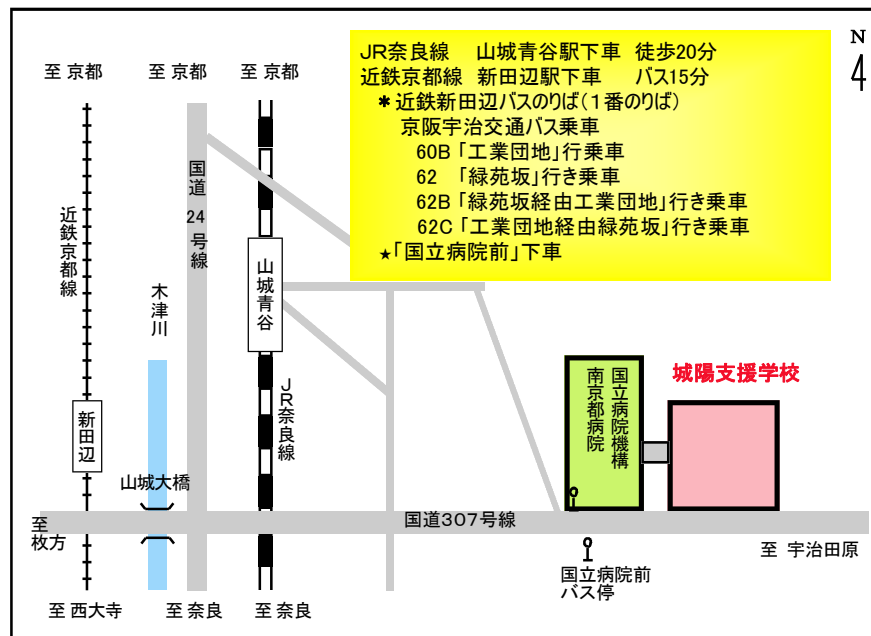
【学校】 授業料はありませんが、教材費等は必要です。申請することによって保護者の所得に応じて就学奨励費が給付されます。

教育相談の御案内

- ・慢性疾患・虚弱体質・肥満や不登校等のお子さんとその保護者、先生方が悩んでおられることについて
- ・病院に入院して病気の治療を受けながら学習を継続することについて

※ 教育相談担当者がお伺いすることも可能です。

城陽支援学校案内図



治療と学習の両立を

～一人一人のニーズに合わせて～



小学部児童作品



京都府立城陽支援学校 病弱教育部

<http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4

TEL : 0774-53-7100

FAX : 0774-53-4044

e-mail : jyouyou-s@Kyoto-be.ne.jp

入院前の学習が 継続できる学校

学校で学びながら病気を治したい……そんな児童生徒の願いにこたえて、府立城陽支援学校病弱教育部では隣接の独立行政法人国立病院機構南京都病院と連携し、困難に負けない強い心と体を持ち、明るく豊かに生きぬく児童生徒を育てる教育を行っています。

国立病院機構南京都病院
(治療、生活指導)



国立病院機構南京都病院は、緑豊かで閑静な中に、近代的な施設設備を誇っています。

下校・治療

府立城陽支援学校



本校病弱教育部は、喘息・腎炎・肥満症・神経疾患などの慢性疾患や腹痛・頭痛などの身体症状を伴う小児心身症などのために、小・中学校生活が困難で南京都病院に入院している児童生徒が病気治療と学習を両立させながら小・中学校に準じた教育課程で学んでいます。

登校・学習

教育目標

豊かな心とたくましく生きる力を育てる。
—自信を持たせる指導の充実—

- (1) 病状に留意して生活する力を育てる。
- (2) 自主性や創造性を育てる。
- (3) 豊かな人間関係を育てる。
- (4) 自主的に学習する力を育てる。(学力充実)

個に応じた指導による学力の伸長

病気による学習空白をうめたり、学力の充実のために個に応じたきめ細かな指導を行います。また、病状や治療のために登校することが困難な場合は、病棟内で授業を行います。



体験学習発表

学校生活を楽しく豊かに

楽しく、豊かな学校生活を送るために、児童生徒の病状や疾病に配慮しながら、校外学習・修学旅行・体育大会・学習発表会・交流教育・老人ホームへの訪問などを行っています。また心理的な課題に対して、相談・支援を行っています。



学習発表会

連携を密にして

- ・日常的に南京都病院の医療スタッフと連携を取り、定期的な連絡会も行っています。
- ・前籍校(小中学校)や家庭との連携も密にしています。また、必要に応じて、各関係機関との連携によりケース会議を開きます。
- ・中学部卒業後は高等学校への入学等希望進路を実現しています。
- ・進路指導にあたっては高等学校や前籍中学校とも連携しています。



病院スタッフとの連絡会

子どもたち一人一人の
心によりそって

子どもの1日

8:20~ 8:35	登校	病院から通学路を集団登校します。病状によっては渡り廊下を通ります。	
8:35~ 8:50	朝の活動 (週3回は自立活動)	〈月〉 読書活動を行います。 〈火・水・木〉 各自が目標を持って自立活動に取り組みます。 〈金〉 小学部・中学部合同で朝の会を行います。	
8:50~ 9:00	朝の会	各クラスで朝の会を行います。	健康観察や日程の確認をします。
9:00~ 12:30	授業	1校時~4校時の授業を行います。	
12:30~ 13:35	昼食 昼休み	昼食は病棟で病院食を食べます。ドクター診察もあります。	
13:35~ 15:15	授業	5校時・6校時の授業を行います。	
15:15~ 15:30	清掃 終りの会	各クラスで清掃と終りの会を行います。	一日の振り返りをします。
放課後 ~16:00	補充学習 教育相談	個々の課題に応じた学習内容で補充学習に取り組んでいます。また、週1回は教育相談を行っています。	
17:00~ 18:00	病棟学習	病棟の学習室で宿題などの学習に取り組みます。	

* 病棟学習は病棟の日課です。